

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は、現在の工事進捗状況（高架橋の柱受け基礎工事、仮下り線敷設工事）についてお知らせいたします。

高架橋の基礎杭工事について

星川駅において柱受け基礎の築造開始

現在までに、線路を北側に移設することで空いたスペースや営業線に支障しない南側において本設高架橋の基礎杭を打設しており、全基礎杭の約10%にあたる47本の打設が完了しました。また、星川駅中央付近から海老名方の2～3番線間において、鋼製の高架橋と基礎杭を接続するためのアンカーフレームの設置※(写真-①参照)と高架橋の柱を受けるための基礎の築造(写真-②参照)を開始しました。今後は星川駅横浜方の2～3番線間についても順次施工していき、今年秋に予定している仮下り線切替えまでに25箇所の築造を予定しています。※豆知識「星川駅の高架橋について」参照



写真-① アンカーフレームの設置



写真-② 柱受け基礎築造後の様子

仮下り線切替え工事に伴う 軌道敷設について

仮下り線約700mの軌道敷設完了

今年の秋に、当事業で3回目の線路切替え工事として約1.5kmにわたり、現在の下り線を北側に切替える工事を予定しています。現在は上り線を切替えたことにより広く空いた線路内で、事前に施工できる箇所の軌道を敷設しており(写真-③～⑤)、5月末時点で約700mの敷設が完了しました。今回の切替え工事において事前に軌道が敷設できない箇所が、平成19年秋に行なわれた1回目の仮上り線切替えよりも1箇所多い6箇所となり、厳しい条件下での切替え工事となる予定です。切替え日程、詳細に関しては次号にてお知らせいたします。

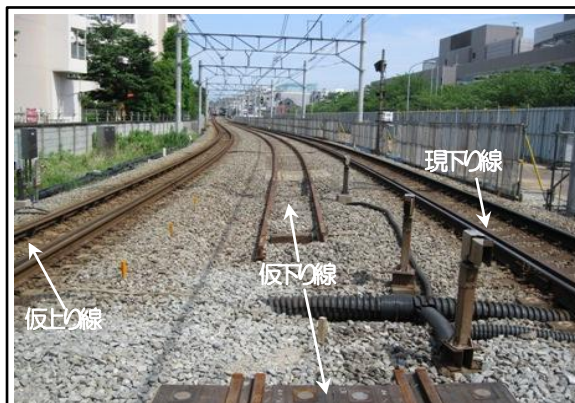


写真-③ 天王町1号～2号踏切間軌道敷設状況
(天王町2号踏切より横浜方面を望む)



写真④ 天王町2号～3号踏切間軌道敷設状況
(天王町3号踏切付近より横浜方面を望む)



写真⑤ 星川4号～6号踏切間軌道敷設状況
(星川4号踏切付近より海老名方面を望む)

ホシテン豆知識(その7) 星川駅の高架橋について

今回の事業にまつわるキーワードや情報についてお知らせするコーナーです。

前ページでアンカーフレームの設置についてご案内しましたが、このアンカーフレームは鋼製の高架橋柱と基礎を接続するための装置です。今回の連立事業における高架橋は大部分がRC（鉄筋コンクリート）構造ですが、星川駅部の高架橋だけは鋼製構造の高架橋となります。

将来の星川駅は高架上においても2面のホームと4本の線路を要し、さらに3階層の高架橋となることから、他の区間の高架橋より大きな構造となります。このため、RC構造で設計した場合、高架橋の柱や梁（はり）などの部材寸法が大きくなることや、鉄筋の組立てやコンクリート打設等の作業が膨大になり、線路内での工事に適しません。

これに対し、鋼製構造の場合は工場で作成し現場で順次架設していただけることから、図-①の通り、線路の間や直上で高架橋の構築を行う今回の星川駅のような施工環境においては品質面や工程短縮の面において優れているため、鋼製構造を採用しています。

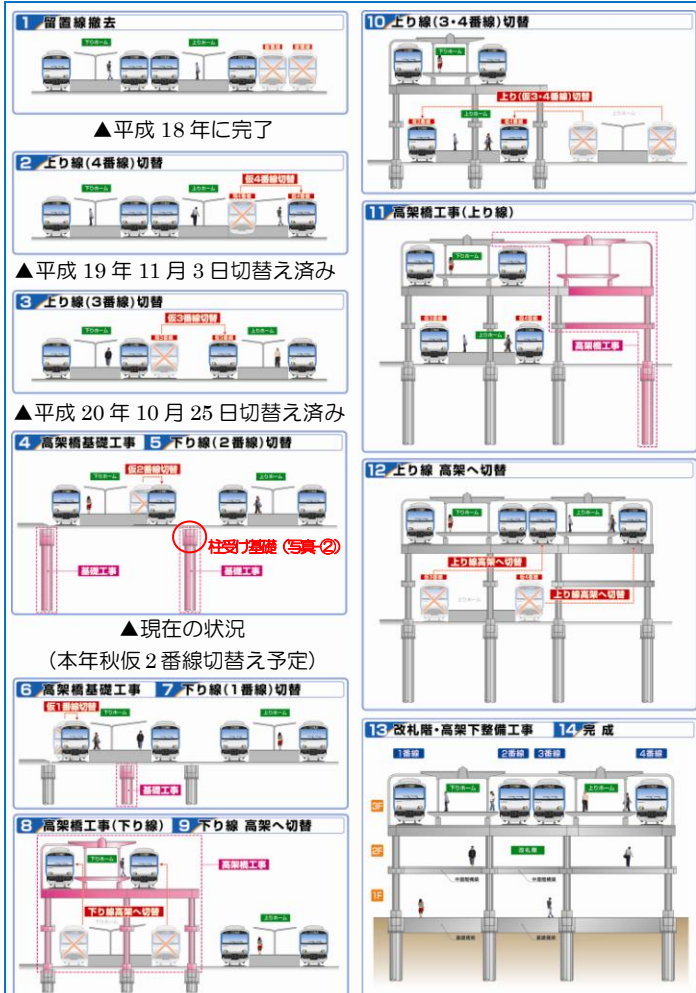


図-① 星川駅施工ステップ図

～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ……横浜市 道路局 計画調整部 企画課 鉄道交差調整担当
Tel 045 (671) 2792
 - 工事に関するお問合せ……相模鉄道株式会社 鉄道カンパニー星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所
Tel 045 (335) 6733
- ホームページアドレス：<http://www.sotetsu.co.jp/train/crossover/>